

洪水ハザードマップ

河川名：赤川・倉沢川

朝日地域（南）

- このマップは、赤川、倉沢川が大雨で氾濫した場合の洪水浸水想定区域と浸水深、あわせて各地区の避難所などを示したものです。
- 洪水浸水想定区域と浸水深は、国と県から公表された「想定しうる最大規模降雨」（※1）による洪水浸水想定区域図を重ね合わせたものです。

※1【河川ごとの想定最大規模降雨量】

河川名	想定しうる最大規模降雨量
赤川、倉沢川	赤川流域の12時間の総雨量 303mm

発行元：鶴岡市 発行日：令和2年3月

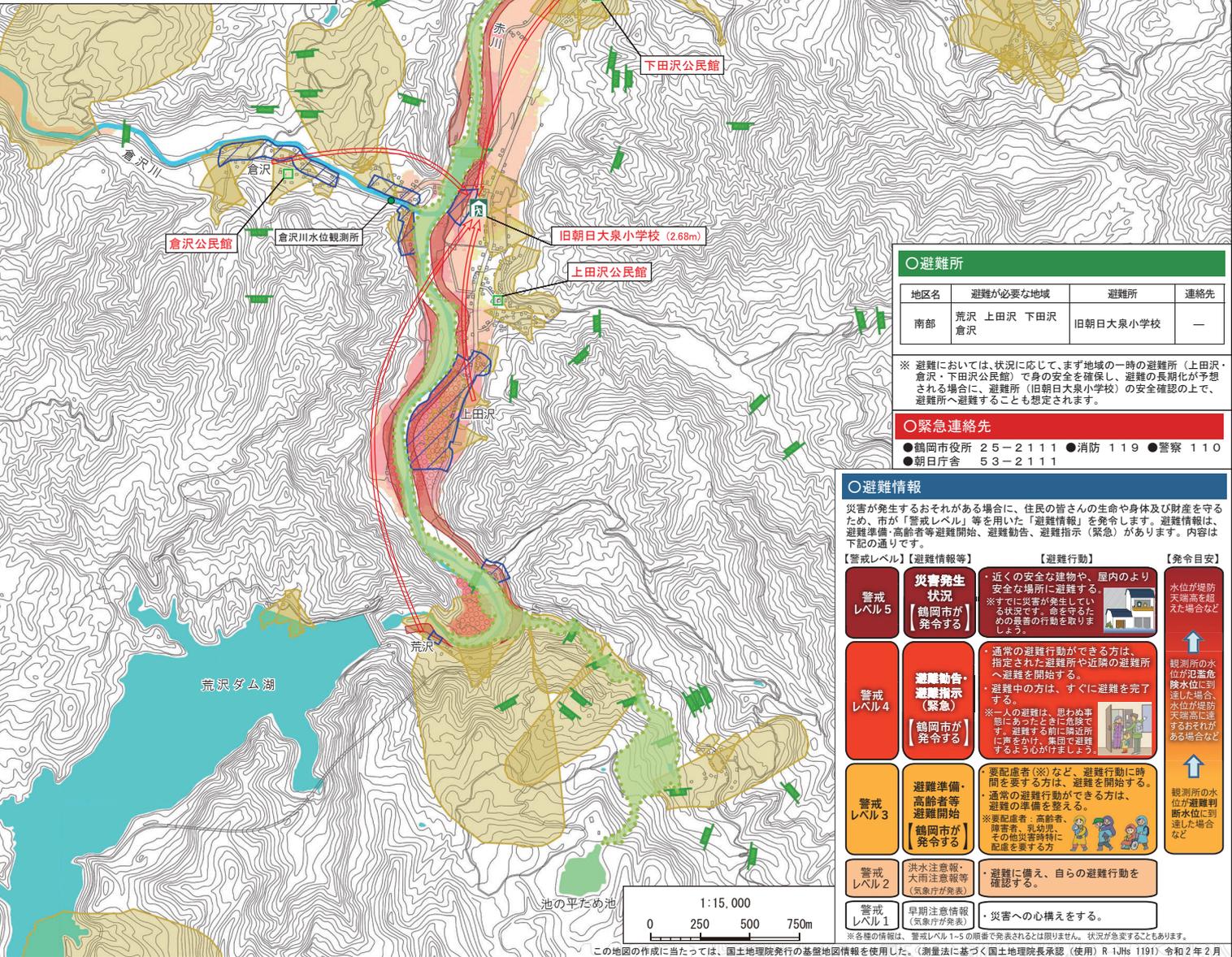
凡例

- 早期の立退き避難が必要な区域
※この区域は、「本造家屋の倒壊等をもたらす氾濫流が発生するおそれのある区域」「河岸侵食で家屋が倒壊するおそれのある区域」「想定される浸水深3m以上の区域」のいずれかを含む区域としています。
 - 本造家屋の倒壊等をもたらす氾濫流が発生するおそれのある区域
 - 河岸侵食で家屋が倒壊するおそれのある区域
 - 避難所（避難所名称の数値は想定最大浸水深）
 - 一時の避難所（民間施設で逃げ遅れ等の緊急時に避難する場所）
 - 避難方向 ※災害の状況により、お住まいの地区以外の避難所等への避難も可能です。
 - 砂防ダム
- 想定される浸水深

 - 5m以上
 - 3～5m
 - 0.5～3m
 - 0～0.5m

浸水深

 - 2階も水没
 - 1階が水没
 - 床下浸水
- ため池の堤防決壊による浸水想定区域
※この区域は、大雨でため池の堤防が決壊した場合の浸水想定区域です。
 - 土砂災害警戒区域・特別警戒区域
※この区域は、大雨で土砂災害が発生する恐れのある範囲です。



○避難所

地区名	避難が必要な地域	避難所	連絡先
南部	荒沢 上田沢 下田沢 倉沢	旧朝日大泉小学校	—

※避難においては、状況に応じて、まず地域の一時の避難所（上田沢・倉沢・下田沢公民館）で身の安全を確保し、避難の長期化が予想される場合に、避難所（旧朝日大泉小学校）の安全確認の上で、避難所へ避難することも想定されます。

○緊急連絡先

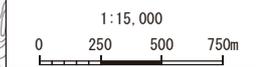
●鶴岡市役所 25-2111	●消防 119	●警察 110
●朝日庁舎 53-2111		

○避難情報

災害が発生するおそれがある場合に、住民の皆さんの生命や身体及び財産を守るため、市が「警戒レベル」等を用いた「避難情報」を発令します。避難情報は、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）があります。内容は下記の通りです。

【警戒レベル】	【避難情報等】	【避難行動】	【発令目安】
警戒レベル5	災害発生状況 【鶴岡市が発令する】	・近くの安全な建物や、屋内より安全な場所に避難する。 ※すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動を取りましょう。	水位が堤防天端高を超えた場合など
警戒レベル4	避難勧告・避難指示（緊急） 【鶴岡市が発令する】	・通常の避難行動ができる方は、指定された避難所や近隣の避難所へ避難を開始する。 ・避難中の方は、すぐに避難を完了する。 ※一人の避難は、思わぬ事態に陥ったときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団で避難するよう心がけましょう。	観測所の水位が警戒水位に到達した増水、水位が堤防天端高に達するおそれがある場合など
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始 【鶴岡市が発令する】	要配慮者（※）など、避難行動に時間を要する方は、避難を開始する。 ・通常の避難行動ができる方は、避難の準備を整える。 ※要配慮者：高齢者、障害者、妊婦、その他災害時特に配慮を要する方	観測所の水位が避難判断水位に到達した場合など
警戒レベル2	洪水注意報・大雨注意報等 （気象庁が発令）	避難に備え、自らの避難行動を確認する。	
警戒レベル1	早期注意情報 （気象庁が発令）	・災害への心構えをする。	

※各種の情報は、警戒レベル1-5の順で発表されたとはいえません。状況が急変することもあります。



この地図の作成に当たっては、国土地理院発行の基礎地図情報を使用した。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 1Jhs 1191）令和2年2月